

ウキゴケ科 イチョウウキゴケ属

# イチョウウキゴケ (銀杏浮苔)

*Ricciocarpus natans* (L.) Corda

の位置づけ

千葉県

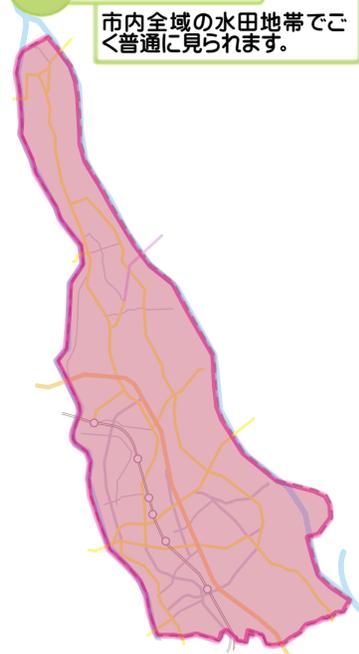


環境省



## 市内の分布状況

市内全域の水田地帯でごく普通に見られます。



### 自生環境

水田 など

### 原産地

日本在来

### 生育を脅かす要因



今のところ野田市内の水田にはたくさん生えています。ただ、全国的に見ると、除草剤や乾田化などの影響で数を減らしつつあるようです。

## 特徴

- ☆ 水田とその周辺に多く、水面に浮かんだ状態で生育しています。ただ、冬の乾田化が進み、除草剤が普及した今、全国的に数は少なくなっています。
- ☆ 水面に浮かんでいる葉のような部分（葉状体）は緑色で、二又に分かれ、まるでイチョウの葉を連想させるような形をしています。新しい葉状体を次々につくりながら増えていきますが、ぶつは数個がまるく集まった状態になっています。
- ☆ コケ植物なので花は咲きません。種子ではなく胞子で増えていきます。また、体は根・茎・葉の区別がはっきりせず、葉状体の裏側は根のようなものもじゃもじゃ生えています。根はなく、体全体で水を吸収します。

## 水陸両用のコケ

イチョウウキゴケは、水が完全になくなっても生育可能です。水があるときの葉状体は分厚くてよく浮きますが、水がなくなると葉状体は薄くなり、土の上に丸くべったりと張りついたような状態になります。水量に応じて体を変化させ、水陸両方に対応できるようになっているのです。とはいえ限界があり、完全に土が乾燥してしまうと、干からびて枯れてしまいます。



数個の葉状体が半円～円のかたちに集まることが多い



水がなくなっても陸上で生育できる

陸上のものはゼニゴケに似ているがまるくまとまる傾向がある

## 体の形がイチョウの葉に似ている



わぴちゃんねる 千葉県野田市の植物を動画で紹介!

<https://www.youtube.com/channel/UCJvrXBjegnWATWd-UZsNzCA>

